

科目番号		52014	分類	助産診断技術学		履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	新生児期診断・技術学 (Newborn Care)								1		
									配当セスター		
									通年		
担当者	○小嶋奈都子 他3名			区分	助産師免許取得プログラム		必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標								学位授与の方針との関連			
【概要】 新生児の生理的特徴、胎外生活への適応、成長・発達のヘルスアセスメント及びケアに必要な知識・技術・態度を学習する。また、乳幼児期の発育・発達と保健相談について学習する。 【目標】 1. 新生児の生理的特徴を説明できる。 2. 新生児の胎外生活への適応について説明できる。 3. 新生児のフィジカルアセスメントの方法を説明できる。 4. 新生児の出生直後から1か月健診までに必要なケア方法を説明できる。 5. 乳幼児の発育と生理・運動・精神的機能の発達について説明できる。 6. 乳幼児の発育発達に関連した保健相談について説明できる。								○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
								○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
								○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
								○	4.周産期の救急時に対応できる能力		
								○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
									6.研究・開発能力		
								○	7.倫理的意思決定能力		
								授 業 計 画			
回		内 容								担当教員	
第1回		新生児学総論								小嶋 他3名	
第2回		新生児の体温、栄養									
第3回		新生児の水と電解質、黄疸									
第4回		新生児の血液、感染症と免疫									
第5回		新生児の呼吸、循環									
第6回		乳幼児の発育 生理機能の発達									
第7回		乳幼児の運動機能の発達									
第8回		乳幼児の精神機能の発達									
第9回		出生直後の新生児の観察とケア									
第10回		早期新生児期の新生児の経日変化とケア									
第11回		新生児の異常とケア①									
第12回		新生児の異常とケア②									
第13回・第14回		ハイリスク新生児の看護、ディベロップメンタルケア									
第15回		乳幼児の事故 母子保健の課題と保健相談									
事前・事後学習		事前学習：各回の必携図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。									
評価の方法		筆記試験（80％） レポート・プレゼンテーション評価（20％）									
参考図書・資料等		◎新生児学入門 第5版 仁志田博 医学書院 ◎助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ(3)新生児期・乳幼児期 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ◎日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく新生児蘇生法テキスト第4版 細野茂春 メジカルビュー社 ・目で見る妊娠と出産 馬場一恵 文光堂 2013 ・助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア 2023 日本看護協会出版 ・助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア 2023 日本看護協会出版 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。									
備考		オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。									